

## 電動集密書架の使い方



電動集密書架は、

お出ししたい書籍を開けて使う  
移動式の扉（赤いボタン）の操作です。

お出しの際は「集合カウンター」  
又は、お近くのパソコン

ご利用後はランプを閉じて下さい



- + 図書館参加
- + 学習環境整備
- + コンテンツ
- + つながり
- + 協働
- + 成長

Academic Link Student Assistant による

## 図書館業務支援

よりよい学習環境の構築と学習支援の実施に学習者の立場から参加すること、および学生自身が大学における自分の学習を充実したものにする目的として活動。(1) 図書館業務の補助・支援 (2) 各種ガイダンス・セミナー等学習支援企画の補助・支援を行っている。これらの活動の中から、館内フロアマップの改善、電動集密書架のわかりやすい使い方の掲示物の作成、小中高教科書の配架方法考案など学生目線による図書館環境整備改善が行われている。

学習者自身による学習環境の整備と改善  
学生目線による図書館利点アピール  
新しい図書館へ

今日は電動書架の使い方が分からない方が質問にきてくれました。声をかけて下さる方が増えているように思います。個人的に勉強していた時に集密書架の使い方に困っている人が2人くらいいた。電気を消さないと動かないのがわからなかったようだ。そのことも分かりやすく掲示できるといいのかな。教科書のシール貼り楽しいです。貼ってからすごく整理しやすくなったと感じています。また棚のすきまに落ちている本を見つけました。留学生の方に本の場所を聞かれました。とりあえず本の場所を教えました。本当は調べ方を教えてあげた方がよかったかなと思いました。全集などの配架調整をする時はラベルのあたりに手書きで巻数が入っているとやりやすいなと思っていました。今日ずれているのを発見してしまい過信しすぎもよくないなと思いました。今日は雨と寒さのせいか人がたくさんいた気がします。ラウンジ含めどの階も利用率が高くてなんだか嬉しかったです。K棟2Fにある額には千葉大のコピーが描かれていたことに初めて気づきました。低書架のところで作業しているとけっこう声をかけられる。コピー機の場所や本の場所など、いることが目に入りやすく声をかけられやすいのかもしれない。L棟4Fの配架調整は私の興味がある分野のタイトルが並んでいて楽しいです。L棟を昔から知っていてもやはり迷うなと思いました。雑誌配架をしておもしろい雑誌を発見して、図書館を奥が深いと感じました。閉架の存在を初めて知りました。色々な場所を改めて知らないといけないですね。L棟にOPACが増えている驚きました。L棟がオープンして1ヵ月経ちました。まだまだ不慣れで迷子になっていた探検している人もいればお気に入りの場所を見つけている人も利用者さんを見てると興味深いですね。ソファで気持ちよさそうに小説を読んでいるのすごいね!と思います。洋書の棚がぎざりだったので動くしたら効率がいいのか悩みました。本棚の返本のために空を作る時どのくらい空けておけば返本に不便でなくかつ本も傷みにくいのか考えてしまいます。はやく慣れるようにL棟をたくさん利用していきたいです。学科のゼミでL棟について少し話した時にガラスぱりとかアクティブラーニングスペースの評判が悪かった。蔵書スペースを増やしてほしいという意見が多かった。本棚がすごい乱れてるので頑張らしましょう。試験の多い理系の棚が乱れがちなようです。こんな時こそ丁寧に整理して誰もが気持ちよく使えるようにしようと思います。いろいろ試す中で私なりの返本や書架整理のマニュアルのようなものができてきてやりやすいです。高校生のみなさんは試験期間でマジメな学生でいっぱい館内を興味深く見ている様子でした。「千葉大にきたい!」と思えるきっかけのひとつになればいいなあと思います。今日のライブラリーツアーでは東京から来てくださった高校生の方たちをご案内しました。前回よりも親しみやすいようにややフランクな話し方を心がけてみましたがどうだったでしょうか。ライブラリーツアーは高校生も大学生を見て、大学生も高校生を見て、と互いに刺激になっていたようだった。ライブラリーツアーでは、高校生から「受験の時どのくらい勉強しましたか?」という質問が出ておどろきました。みなさん真剣かつ楽しんで聞いてくださってうれしかったです。今日は高校生の方へ向けてのライブラリーツアーを行いました。電動集密書架にあっと驚いたり、大きな洋雑誌のハードカバーに感動したり、新鮮な反応がとてうれしかったです。改めて千葉大じまんの図書館だなあと感じました!

考える学生が考える環境を創る